

〈令和5年度東京都立大島高等学校 定時制課程 学校経営報告〉

学校名 東京都立大島高等学校

令和6年3月31日

校長名 佐々木 一憲

1 取組についての報告と評価

(1) 教育活動への取組と達成状況

《教育目標》 五訓に基づき、郷土を敬愛し、自己の尊厳を覚り、真理を究明し、誠実をもって事を達成し、常に健康かつ明朗で勤労を貴ぶ人材を育成する。 ○誠実 Sincerity ○敬愛 Respect ○勇気 Courage ○自尊 Self-esteem ○自主 Independence 《教育目標を達成する活動内容》 ○ 誠実で豊かな人間性をもつ知・徳・体の調和のとれた人間を育成する。 ○ 郷土を愛し、誇りをもってその良さを世界に発信できる人間を育成する。 ○ 勇気と行動力をもって困難に立ち向かうことのできる逞しい人間を育成する。 ○ 自己を信じ何事にも前向きに取り組むことのできる人間を育成する。 ○ 自ら考え判断し行動できる自主性と創造力をもった自立した人間を育成する。 ○ 教職員の絶え間ない研鑽と組織的・継続的な教育活動を推進する。	
---	--

《今年度の数値目標の達成状況》

目 標 内 容	数 値 目 標	達 成 状 況
入学満足度	肯定評価 85%以上 (100%) 生徒肯定評価 85%保護者 100%	生徒肯定評価 100%保護者 100%
授業内容理解に対する生徒肯定率	肯定評価 90%以上 (4年度 85%)	生徒肯定評価 100%
主体的・対話的な深い学びの視点に立った授業実践授業実践の取組	全ての教員による実践 100% (4年度 100%)	全ての教員が実践 100%
読書率	80%以上 (4年度 100%)	100%
募集対策に係る説明会等参加数	延べ 10 回 10 名以上 (4年度 0 回)	3 回 6 人 4 組
検定・資格・コンクール等チャレンジ割合	75%以上 (4年度 60%)	89%、高卒認定試験受験 1 名、定通東京都美術展出品 8 名
学校ホームページの更新	教育活動の発信 更新 80 回目標 (4年度 179 回)	給食、学校行事、その他で 161 回

(2) 取組状況と自己評価 (4段階 高4～低1)

ア 学習指導：基礎学力の定着と学習意欲の向上を図る

【 3 】

- ① 45分間の授業を大切に、チャイムと同時に授業が展開できる態勢を維持した。
- ② 年間授業計画に達成目標、評価基準を明確に示し、定期考査等の結果を踏まえて授業に取り組んだ。
教員相互の授業見学、他校、指導教諭の模範授業等の参加については7人中6名であった。引き続き全員が実施できるように努める。
- ③ すべての教員が主体的・対話的学びの実現を目指し、積極的に授業に取り入れ人間関係重視の授業の実践を積みあげた。個に応じた指導も取り入れ授業改善に取り組んだ。
- ④ 6、9、2月に読書週間を設け、読書活動の推進を図った。今年度も読書率 100%を達成できた。

イ 進路指導：生徒の自己理解を進め希望する進路実現を支援する

【 4 】

- ① 10月に進路講演会を、11、12、1月にキャリアセミナーを実施、キャリア教育の充実を図った。
- ② 自らが希望する企業や学校の情報資料の提供、生徒個々の実態に応じた個別指導を重ね、希望の進路に合わせた対応の成果がみられた。
- ③ 進路状況については1月末現在、都立職業能力開発センター4名、専門学校1名。進路決定率は100%。
- ④ グループエンカウンターを全学年、教員、SCも加わり、年間3回実施した。自己理解や他者理解を図り、居場所作りと一人ひとりの自己肯定感を向上させた。加えて教員との距離を縮めるのに役に立った。

ウ 生活指導：社会性を培い、自主性を尊重し、自律の態度を養い、規律ある生活習慣の育成する 【 4 】

- ① 年間を通して健康確認、時間厳守、あいさつ、遅刻指導、帰宅時の見送りを組織的に実施した。
- ② 12月には警察署、防犯協会、地域母の会と連携し、元町地区夜間パトロールを2日間実施した。活動により社会貢献並びに地域参画を促す一助となった。
- ③ 交通安全教室、セーフティ教室（薬物乱用防止）を実施、生命尊重の精神を育んだ。

エ 健康・安全：教育相談体制の整備と、安全の確保・事故防止を徹底する 【 3 】

- ① 全学年対象としたスクールカウンセラーとの個別の全員面接により相談することへのハードルを下げ、安心して相談できる環境づくりを行った。事後の面談の情報共有で教員の生徒理解向上につながった。
- ② 防災教育の推進と学校危機管理計画に基づく危機管理体制づくりを進めた。様々な状況を設定した避難訓練を計画的に実施。火災、地震、津波、噴火に合わせた4回（4、6、9、1月）の訓練を行い「自助・共助・公助の連携による防災力の向上」並びに命の大切さを学習させた。

オ 広報活動・募集活動：保護者や地域に積極的に教育活動を公開する 【 4 】

- ① 昨年リニューアルしたホームページを利用し、本校定時制の良さをPRするため学校生活や行事を中心とした更新を行った。昨年度より更新回数は減ったが広報活動には充分繋がった。
- ② 学校PR用のポスターを作成し、町内の施設・商店に掲示し、島民の誰でも目に触れるものとした。
- ③ 学校公開を利用し、町内関係施設、中学校教員を招待し、本校の良さと、大島町のセーフティネットであることを伝えた。加えて給食の試食を行い、夜間定時制課程に通う高校生を支える大切な役割を果たしていることをアピールした。

2 次年度学校経営への評価の観点と改善策

（1）学力・授業力向上

【評 価】主体的・対話的な学びの積極的な導入、人間関係重視の授業の実践。

【改善策】各教科で少人数でもできる学びを工夫する。相互授業見学、他校、指導教諭の模範授業等(web 含)の参加による情報交換と授業改善を引き続き推進する。

（2）進路指導・キャリア教育の充実と生徒の進路実現

【評 価】常に進路希望 100%達成を目指す土台作りとしてのキャリア教育の実現、生徒向けの進路意識啓発事業の充実。生徒のニーズに合った進路指導並びに提携学生寮の選択。

【改善策】ハローワークや都立職業能力開発センターを始めとした関係機関との連携。学習状況・進路希望状況の生徒情報の共有、三者・二者面談に基づく計画的な指導を継続。生徒の希望進路を実現する進路研修と生徒指導を継続し、実現する。

（3）生徒個々の能力や特性に応じた個別的・計画的な指導の充実

【評 価】多様な生徒の学力・その他の能力・特性に応じた個別指導、教員同士の情報交換等の充実、多方面に渡る成長を多角的に評価。

【改善策】個別最適な学びを目指し生徒の実態に合った教材開発と授業を行う。校内研修や大島町立学校との連携・都の教科主任会へ参加し実践事例などを校内で伝達することで、授業力の向上を目指す。

（4）生活指導・健全育成

【評 価】避難訓練・講話による防災意識の向上と自助・共助の力を身に付ける指導の実施。

【改善策】学校危機管理計画に基づく危機管理意識の徹底と安心・安全な学校づくりの継続。防災推進委員会を通じた大島町との継続連携。

（5）広報・募集活動の取組

【評 価】学校ホームページ更新回数、学校便りの発行（年間3回）、授業公開、学校説明会の開催

【改善策】従前の広報活動に捉われるのではなく、本校の良さを伝える内容を精選し、写真と解説を中学生に訴求するHP作りを行う。不登校や様々な事情を抱えた生徒を温かく迎えることができる学校であることを伝える募集活動をあらゆる形で模索する。町の自立支援団体^{ペレット}、^{ワット}と連携する。